

H20年度ごみゼロプラン推進モデル事業

①鳥羽市「事業系ごみ(食品廃棄物)再資源化システム検討事業」

・ホテル・旅館などから発生する食品廃棄物の減量化・リサイクルループの構築をめざし、ホテル・旅館、商工会議所等と連携してモデル事業所を選定し、事業系ごみの再資源化に向けたシステムの検討・実証事業を行う。

②伊賀市、名張市「レジ袋有料化検討事業」

・レジ袋削減・マイバッグ持参の推進をめざし、隣接する両市間で連携調整を図りつつ、それぞれ住民・事業者・行政等で構成する検討会を運営し、同時でのレジ袋有料化スタートをめざすとともに、ドラッグストア・コンビニエンスストア・ホームセンター等にも参画を求め、より幅広い業種での取組推進をめざす。

③松阪市、多気町、明和町、大台町、玉城町、大紀町「レジ袋有料化検討事業」

・レジ袋削減・マイバッグ持参の推進をめざし、隣接1市5町の広域ブロックが一体となって、住民・事業者・団体・行政等で構成される一元的な検討組織を設置し、レジ袋有料化や啓発活動等について検討するとともに、各市町ごとに啓発活動を実施し、ドラッグストアも含めた、広域でのレジ袋同時一斉有料化をめざす。

①鳥羽市「事業系ごみ(食品廃棄物)再資源化システム検討事業」

(経過)

H20. 6月 旅館・ホテルに事業系生ごみリサイクル事業への参画案内
(対象:日平均排出量100kg/以上の12事業者)

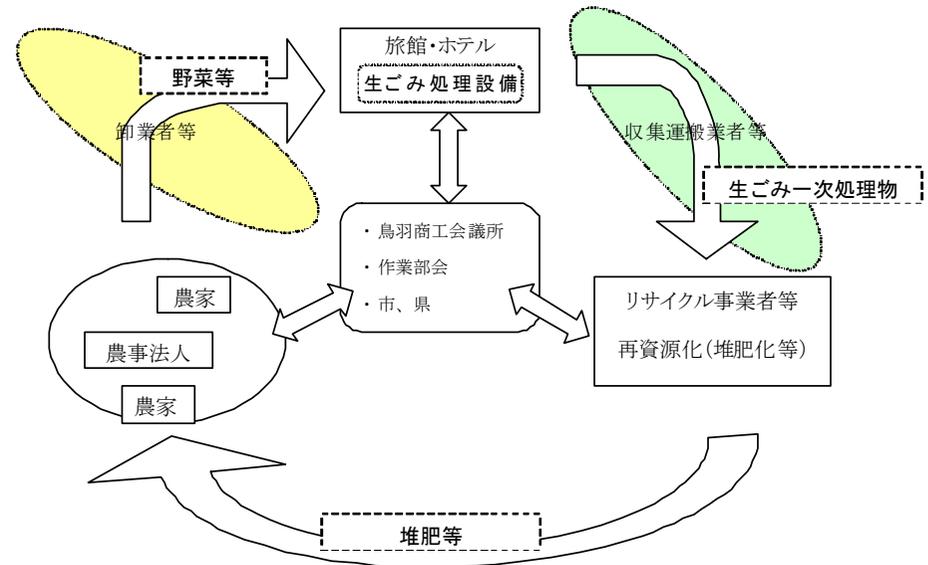
H20. 7月 事業系生ごみリサイクル業者による再資源化システムの提案
(3社から提案)

H20. 11月 旅館・ホテルから提出された事業申請への交付決定(2件)

(申請概要)

	サン浦島	戸田家
処理方式	乾燥式	バイオ式(微生物による高温好気性発酵)
処理能力	100kg/日	100kg/日
再資源化	契約農家で米を栽培し、料理食材として利用	契約農家で野菜などを生産し、料理食材として利用

(システムイメージ例)



②伊賀市、名張市「レジ袋有料化検討事業」

伊賀市

「持ってだあ～こマイバッグ(レジ袋有料化)検討会」(住民、市民団体メンバー等で構成)

H20. 6. 5 協定式

名張市

「名張市マイバッグ持参運動推進市民会議」(既存審議会を母体)

H20. 6. 11 協定式

～ 相互に情報連携しながら、6月～各市ごとにキャンペーン展開～

H20. 6. 30 両市合同の記者発表、

H20. 7. 1 有料化スタート(伊賀市4社9店、名張市4社7店)

H20. 10. 1 追加参加 伊賀市10社19店、うちドラッグストア4社8店

名張市10社15店、うちドラッグストア4社6店

※レジ袋辞退率 伊賀市:88.6% 名張市:91.7% (H20.12)
:88.2% :約90% (H21.1)

③松阪市、多気町、明和町、大台町、玉城町、大紀町「レジ袋有料化検討事業」

「もってこに！マイバッグ検討会」(住民・団体等で構成される一元検討組織)

～ 取組方針等を協議・決定し、各市町ごとに、9月～キャンペーン展開～

H20. 10. 6 協定式

H20. 11. 11 有料化スタート(13社67店、うちドラッグストア3社20店、
ホームセンター1店)

※レジ袋辞退率:89.8%(H20.12)
:90.4%(H21.1)



松阪市等
1市5町



伊賀市・
名張市

三重県内のレジ袋有料化の取組状況

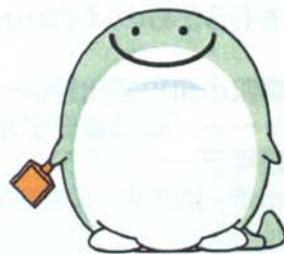
H21. 2. 1現在

H21.2.1 現在－19市町／29市町（65％）・人口カバー率：約60％

H21.4.1 予定－23市町／29市町（79％）・人口カバー率：約78％

レジ袋有料化導入時期・検討状況	市町名
平成19年9月21日導入	伊勢市〔10社31店舗〕 ※うち1社1店舗はH20.5.1～、ドラッグストア2社9店舗はH20.9.21～
平成20年7月1日導入	名張市〔10社15店舗〕 ※うちドラッグストア4社6店舗を含む6社8店舗はH20.10.1～ 伊賀市〔10社19店舗〕 ※うちドラッグストア4社8店舗を含む6社10店舗はH20.10.1～
平成20年9月1日導入	鈴鹿市〔13社39店舗〕 ※うちドラッグストアは4社15店舗（うち1店はH20.9.8～、同1店はH20.11.11～、同1社1店はH21.2.1～） 亀山市〔7社10店舗〕 ※うちドラッグストア2社3店舗
平成20年10月1日導入	桑名市・いなべ市・木曽岬町・東員町〔16社37店舗〕 ※うちドラッグストア4社12店舗
平成20年11月11日導入	松阪市・多気町・明和町・大台町・玉城町・大紀町〔13社67店舗〕 ※うちドラッグストア3社20店舗、ホームセンター1店舗
平成21年1月23日導入	鳥羽市〔5社10店舗〕 志摩市〔9社26店舗〕 ※うちドラッグストア2社4店舗 南伊勢町〔3社8店舗〕
平成21年2月1日導入	度会町〔3事業者3店舗〕 ※うち1事業者は個人商店
導入予定	平成21年4月1日予定
	熊野市・御浜町・紀宝町〔8社13店舗〕 津市〔18社78店舗〕
有料化について検討中	尾鷲市、菰野町、川越町、紀北町

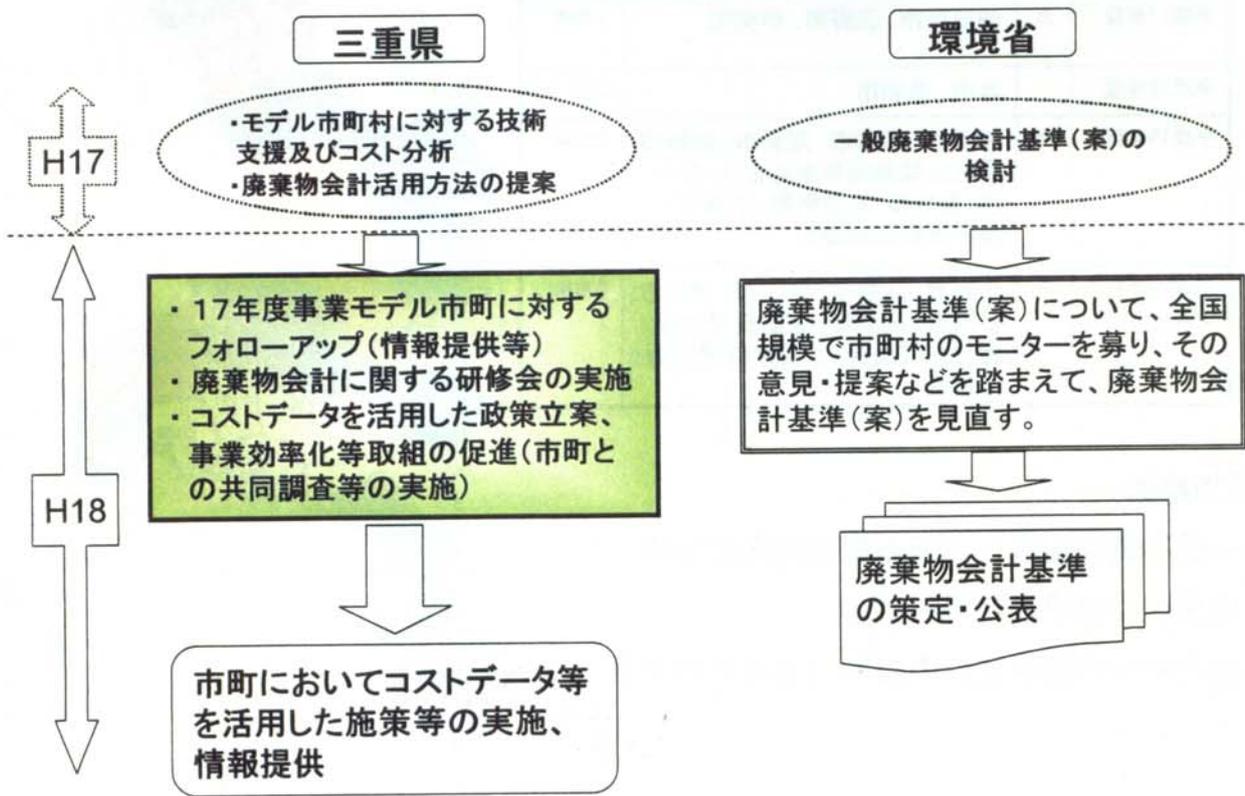
廃棄物会計基準の導入と ごみ処理カルテ策定について



三重県ごみゼロ推進室

三重県ごみゼロキャラクター「ゼロ吉」

1 これまでの廃棄物会計支援実施内容



H19

【廃棄物会計基準等普及啓発事業】

環境省が公表した「一般廃棄物会計基準」の県内市町への普及・促進を図るため、同会計基準を活用した廃棄物処理システムへの適用事例に関する情報提供、市町による同会計の作成業務の支援

(1) 一般廃棄物会計基準の活用事例

長野市、千曲市、四日市市、さいたま市、名古屋市

(2) 市町における一般廃棄物会計の試行

- ・一般廃棄物会計の活用方法
- ・一般廃棄物会計の普及促進に向けた課題

(3) 一般廃棄物会計基準等による評価結果を活用した市町ごみ処理カルテの検討

H20

【市町ごみ処理システムの最適化検討事業】

ごみ処理システムの現状や方向性について、県と市町が情報の共有化を図ることを通じて、市町におけるごみ処理システムの最適化に向けた取組を促進。

(1) 市町ごみ処理カルテの導入検討を行うためのパイロット版作成

データベース

- ・全国市町村データに基づく類似市町村間比較レーダーチャート
- ・県内市町間比較レーダーチャート（環境省モデルに準拠）
- ・県内市町のごみ処理情報、経年データグラフ

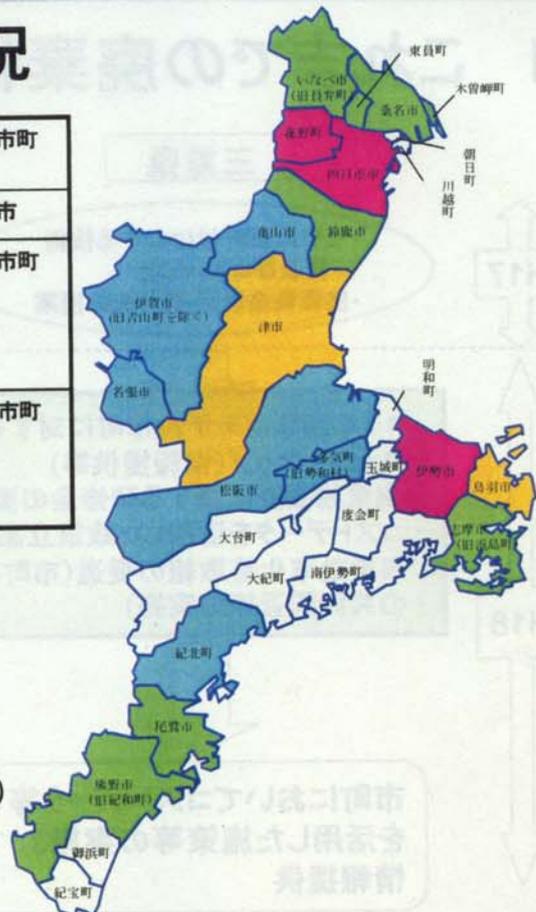
(2) 市町ヒアリング調査(津市、四日市市、伊勢市、菟野町)

2 県内市町の導入状況

平成17年度	■	四日市市、菟野町、伊勢市	3市町
平成18年度	■	津市、鳥羽市	2市
平成19年度	■	鈴鹿市、志摩市、尾鷲市、熊野市、 桑名広域清掃事業組合(いなべ市・桑名市・木曾岬町・東員町) 鳥羽志勢広域連合	8市町
平成20年度 予定	■	松阪市、名張市、亀山市、伊賀市、 多気町、紀北町、香肌奥伊勢資 源化広域連合、伊賀南部環境衛 生組合	6市町

活用事例

- ・一般廃棄物処理システム変更効果の分析
- ・住民への説明資料の材料
- ・委託先への説明資料の材料（委託内容変更）



3. 市町ごみ処理カルテの策定検討

■ カルテのねらい

市町のごみ処理状況が俯瞰でき、市町ごとの強み・弱みを把握できるにより、個々の市町のごみ処理システムに整合した施策の検討立案等を支援するツールとする。

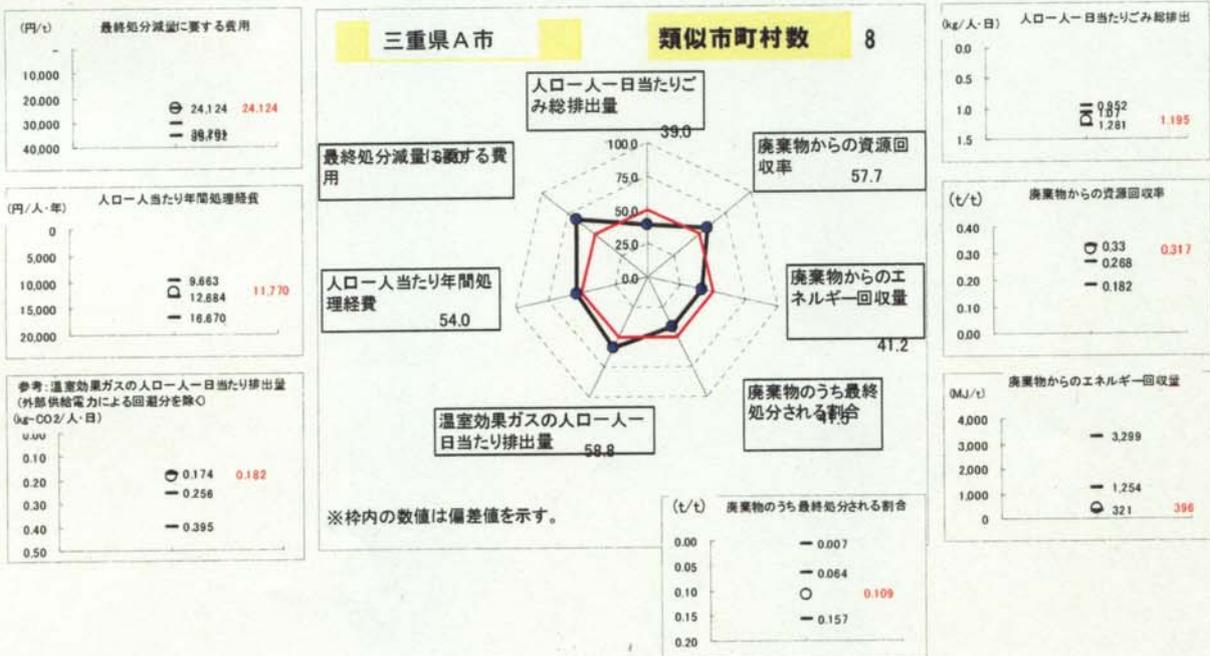
■ 構成

カルテは以下の事項から構成

- 総括表
- 基本情報
- ごみ処理状況
- 比較分析
- 減量化施策
- 施設情報
- 経年変化



ごみ処理カルテ総括表（比較分析例）



経年変化データ

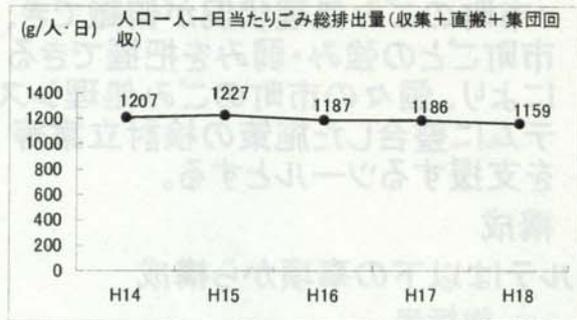
表示させたい経年グラフを選択して下さい。

人口一人一日当たりごみ総排出量(収集+直搬+集団回収)

- 1 人口一人一日当たりごみ総排出量(収集+直搬+集団回収)
- 2 人口一人一日当たりごみ排出量(収集+直搬+自家処理)
- 3 人口一人一日当たり排出量(収集+直搬)
- 4 廃棄物からの資源回収率(総資源化量÷(収集+直搬+集団回収))
- 5 資源としての再利用率(県定義)
- 6 廃棄物のうち最終処分される割合
- 7 人口一人当たり年間処理経費(施設建設費・車輛購入費除く)
- 8 一人一日当たり生活系排出量
- 9 一人一日当たり事業系排出量
- 10 集団回収・資源ごみを除く一人一日当たり生活系排出量
- 11 資源回収率のうち紙類
- 12 資源回収率のうち金属類
- 13 資源回収率のうちガラス類
- 14 資源回収率のうちプラスチック類
- 15 資源回収率のうち繊維類
- 16 資源回収率のうち布類
- 17 資源回収率のうち肥料
- 18 資源回収率のうち飼料
- 19 資源回収率のうち溶融スラグ
- 20 資源回収率のうち焼却灰・飛灰
- 21 資源回収率のうち燃料ガス
- 22 資源回収のうち固化燃料
- 23 資源回収のうちその他
- 24 直接埋立最終処分率
- 25 焼却残渣最終処分率
- 26 処理残さ最終処分率

(資源回収率)

※データは平成17年度から
 ※データは平成17年度から
 ※データは平成17年度から
 ※データは平成17年度から



・今年度はパイロット版として4市町(四日市市、菰野町、津市、伊勢市)のカルテを策定

・来年度は、県内全市町のカルテを策定予定

平成20年度地域ごみゼロ推進交流会の開催概要

資料3

松阪農林商工環境事務所

日時	平成20年8月24日(日) 12:30~16:00
場所	三重県松阪庁舎6階大会議室
参加者	約60名
内容	<p>「ものを大切にすることを育てよう～平成20年度松阪地域ごみゼロ推進交流会～」</p> <p style="text-align: right;">【フリートーク】</p> <ul style="list-style-type: none">●環境活動紹介・啓発(12:30~14:30)<ol style="list-style-type: none">1.「松阪おもちゃの病院」臨時開院2. リフォーム作品ファッションショー3.「嬉野アイリス」寸劇 演題:「ゴミ端会議～今の暮らしどっぷりでは地球が危ない！」4.NPO等団体、三重県による各種展示・啓発活動コーナー●フリートーク(14:40~15:55) テーマ:ものを大切にすることを育てるために必要なことは何か?     <p>【松阪おもちゃの病院】 【リフォーム作品ファッションショー】 【寸劇】</p>

伊賀農林商工環境事務所

日 時	平成20年8月31日（日） 13:30～16:00	
場 所	三重県伊賀庁舎7階大会議室	
参加者	約70名	
内 容	<p>ごみゼロ交流会in伊賀～ストップ！レジ袋～ マイバッグ持参シンポジウム</p> <p>●講演 テーマ：「伊賀地域モデル」で生活環境を変えよう！ ～市民・事業者・行政の三位一体で進めるマイバッグ持参運動(レジ袋有料化)～ 講 師：三重大学学長補佐、三重県地球温暖化防止活動推進センター長 朴 恵淑 氏</p> <p>●パネルディスカッション テーマ：～レジ袋有料化スタート！～「伊賀地域モデル」のこれから コーディネーター：三重大学学長補佐、三重県地球温暖化防止活動推進センター長 朴 恵淑 氏 パネラー：名張市マイバック持参運動推進市民会議会長 木本 凱夫 氏 持っただあ～こマイバッグ（レジ袋有料化）検討会会長 立田 彰子 氏 ｲﾝﾌｨﾈｰﾙ株式会社西日本ｶﾊﾞﾆｰ 総務部 広報・社会貢献グループ マネージャー 堀切 保穂 氏 株式会社オークワ パークシティーなばり店 スアマネージャー 前山 文彦 氏 マックスバリュ中部株式会社 マックスバリュ上野小田店 店長 南川 直幸 氏 ユニー株式会社 業務本部 環境社会貢献部 チーフマネージャー 松井 淳 氏 名張市生活環境部長 田中 実 氏 伊賀市生活環境部長 浅井 広太 氏</p> <p>●意見交換会</p>	
		

桑名農政環境事務所

日 時	平成20年11月22日（土） 9:00～15:00
場 所	いなべ市立笠間小学校
参加者	約600名
内 容	<p>ごみゼロ交流会 in 大安笠間</p> <p>いなべ市大安町笠間地区で開催された「笠間祭」に、ごみゼロの視点を盛り込んだイベントを開催。</p> <p>祭りに参加した生徒、保護者及び教員のみなさんが、マイ箸、マイ椀（豚汁用）、マイボトルを利用して昼食を取り、イベントでのごみの排出を抑制しました。</p> <p>また、エコクイズコーナーでは、子ども達がリサイクルマーク当てクイズに挑戦し、リサイクルについて学びました。</p> <p>他にも、リサイクルバザーコーナーでは、参加者が持参した空き缶をエコマネーとして、バザーが実施されました。</p>



マイ箸・マイ椀



空き缶をエコマネー交換



エコクイズ

津農林水産商工環境事務所

日 時	平成20年11月29日(土) 13:30~16:00
場 所	津市西部クリーンセンター内大会議室
参加者	約60名
内 容	津地域ごみゼロ推進交流会 ●講 演 テーマ：生ごみ堆肥化とおいしい野菜作り（誰にでもできる生ごみの堆肥化） 講 師：NPO法人生ごみリサイクル全国ネットワーク 評議員 橋本 力男 氏 ●事例発表 発表者：NPO法人亀さんの家 代表 亀井 静子 氏 発表者：(株)旅館戸田家 業務副支配人 宍倉 秀明 氏 ●意見交換会 コーディネーター：エコシティ津ネットワーク 北村 早都子 氏 パネラー：NPO法人生ごみリサイクル全国ネットワーク 評議員 橋本 力男 氏 NPO法人亀さんの家 代表 亀井 静子 氏 (株)旅館戸田家 業務副支配人 宍倉 秀明 氏
	 

伊勢農林水産商工環境事務所

日 時	平成21年2月14日(土) 10:00~15:00
場 所	阿児アリーナ ベイホール
参加者	交流会：約 60名 講演会：約 130名
内 容	<p>伊勢志摩地域ごみゼロ推進交流会・講演会</p> <p>●交流会【午前の部：10:00~12:00】</p> <p>【実践報告Ⅰ】 テーマ：廃食油回収の取組について 発表者：阿児町神明自治会 会長 山崎 勝也 氏 テーマ：三重県のごみゼロ推進状況について 発表者：三重県環境森林部 ごみゼロ推進室 森田 透 主査</p> <p>【実践報告Ⅱ】 テーマ：鳥羽市の海ごみについて 発表者：きれいな伊勢志摩づくり連絡会議 会長 高屋 充子 氏 テーマ：鳥羽湾のごみについて 発表者：きれいな伊勢志摩づくり連絡会議 幹事 岡田 喜代晴 氏</p> <p>【実践報告Ⅲ】 テーマ：もったいないフェスタの開催について 発表者：阿児町女性の会 会長 岡山 清子 氏 テーマ：海から産する廃棄物の堆肥化について 発表者：NPO志摩ネットサポート 山本 珠末 氏</p> <p>【意見交換会】</p> <p>●講演会【午後の部：13:00~15:00】 テーマ：美しい海を守りたい～伊勢湾における海洋ごみの現状～ 講 師：鹿児島大学水産学部 准教授 藤枝 繁 氏</p>



四日市農林商工環境事務所

日 時	平成21年2月21日（土） 13:30～16:30
場 所	三重県四日市庁舎附属棟1階101会議室
参加者	約44名
内 容	<p>平成20年度三泗・鈴亀地域ごみゼロ推進交流会</p> <p>●取組報告</p> <p>テーマ：ごみゼロ社会実現プランの進捗状況等について 発表者：環境森林部ごみゼロ推進室 谷出主査</p> <p>テーマ：ごみゼロ社会実現に向けた取組みの必要性和ごみ処理における課題について 発表者：四日市市生活環境課リサイクル係 主幹 松浦 伸吾 氏</p> <p>テーマ：身近なごみ問題についての活動報告 発表者：川越町みどりの町づくり会 会長 片山 勝則 氏 朝日町自治区長会 会長 森 亨 氏 四日市市食生活改善推進協議会 会長 高見 喜美子 氏 JA三重四日市朝日支部女性部 部長 水谷 茂子 氏 NPO法人みどりの家 理事長 石谷 有里 氏 34530会 会長 長尾 計昌 氏</p> <p>テーマ：近隣地のレジ袋減量の取り組みについて 発表者：スーパーサンシ(株) 営業企画部 副部長 多田 智弘 氏 人事企画課 課 長 下向 郁夫 氏</p> <p>●意見交換会 コーディネーター： 34530会 会長 長尾 計昌 氏</p>



尾鷲農林水産商工環境事務所

日 時	平成21年3月8日(日) 13:30~16:00
場 所	三重県尾鷲庁舎5階会議室
参加者	約21名
内 容	紀北地域ごみゼロ推進交流会 <ul style="list-style-type: none">●講 演 テーマ：～消費者の声で企業を変えてごみを減らす～ 講 師：ブログミーツカンパニー 代表 広田 奈津子 氏●事例発表 テーマ：三木里婦人会の取り組み 発表者：三木里婦人会 会長 宇田 須和美 氏●意見交換会
	  

熊野農林商工環境事務所

日 時	平成21年3月15日(日) 13:00~16:00
場 所	三重県熊野庁舎大会議室
参加者	30名
内 容	<p>熊野地域ごみゼロ交流会 ～資源の節約！マイ箸作り体験～</p> <ul style="list-style-type: none">●事例発表 テーマ：「レジ袋有料化への取組事例」 発表者：紀南地域マイバッグ推進協議会 会長 七瀬 喜美子 氏●マイ箸作り体験 講 師：NPO法人海虹路会 池田 圭衣子 氏、宮崎 京子 氏、川上 きく子 氏●意見交換会

ごみゼロセミナーの開催

日 時	平成20年12月7日(日) 13:30~16:00
場 所	三重県総合文化センター レセプションルーム(津市)
参加者	81名
内 容	<p>「ごみゼロ県民・事業者セミナー～子どもたちと学ぶ未来のための環境学習～」 今回のセミナーでは、地域に根ざした企業として環境学習に取り組んでいる事業者の方から講演いただくとともに、自らが主役となって環境活動を行っている県内の小学生と高校生の方々から、取組を紹介していただきました。</p> <ul style="list-style-type: none">●講 演「未来の子ども達に美しい自然を残したい」 講師：ユニー株式会社環境社会貢献部長 百瀬 則子氏●取組発表 発表者1：鈴鹿市立天名小学校 発表者2：三重県立桑名北高等学校●アンケートでの主な意見(回答率67.9%、回答者数55名)<ul style="list-style-type: none">・ 身近なスーパーマーケットが、企業としてどのような環境取組をしているのか、大変わかりやすい講演であった。・ 天名小学校の子どもさん達が一生懸命にエコ活動をしていることに感心しました。私たち大人も見習い良い手本を示していきたいです。・ 学校をまきこんだ今回の企画は大変よかったですと思います。今後も続けてください。・ もっともっと、この様なことをみんなに知らせてほしいと、思いました。

内 容



【百瀬 則子氏の講演】



【天名小学校の取組発表】



【桑名北高等学校の意見交換】



【セミナーの様子】

日 時	平成20年7月19日(日) 13:30～16:00
場 所	三重県総合文化センター 大研修室(津市)
参加者	100名
内 容	<p>「ごみゼロ県民セミナー～あなたの行動を大きなごみ減量につなげませんか～」 ごみの減量に関心はあるけれど、自分一人の行動だけでは、たいして変わらないと思っ ていませんか？ 一人ひとりの行動は小さくても、みんなの力が集まれば大きな変化を呼び起こす力にな ります。</p> <p>●講 演～消費者の声が企業を変える、ごみを減らす～ 講師:ブログミーツカンパニー 代表 広田 奈津子氏</p> <p>●取組発表 発表者1:伊勢市環境部資源循環課 課長 阪本 保夫氏 発表者2:伊賀環境問題研究会 代表 立田 彰子氏</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【広田 奈津子氏の講演】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【阪本 保夫氏、立田 彰子氏の意見交換】</p> </div> </div>

平成20年度行政連絡会議の概要

概 要

市町担当部課長会議(H20. 5. 28) 26市町42名参加

○市町担当部課長等を対象に、朴恵淑三重大学長補佐によるレジ袋削減がテーマの講演に続き、今年度のごみゼロ推進室の取組方針(モデル事業の募集、廃棄物会計等)を説明するとともに、産業廃棄物や伊勢湾浄化に関する取組など、部内他室の取組紹介も併せて実施した。

※特に、レジ袋の有料化については、今年度は特に、市町の取組を注力支援していくことを表明。

○市町からの意見等

・情報提供や、モデル事業に加え、レジ袋有料化に取り組む市町には特段の支援をしてほしい。等

第1回行政連絡会議

議題【ごみゼロプラン推進の取組及び意見交換】

※市町等参加職員：58名

- H19年度ごみゼロプラン推進の取組・進捗状況の「点検・評価」について
- H20年版ごみゼロレポートについて
- 各市町の取組、活動団体、環境教育等の状況について(情報共有)

地域機関	開催場所	開催日時(H20年)
鈴鹿環境室	県鈴鹿庁舎1F第11会議室	11月17日(月) 9:30-12:00
桑名農政環境事務所	県桑名庁舎附属棟第5会議室	11月18日(火)14:00-16:00
伊賀農林商工環境事務所	県伊賀庁舎4階第3会議室	11月19日(水)14:00-16:00
伊勢農林水産商工環境事務所	県伊勢庁舎会議棟2階指名審査会室	11月20日(木)13:30-16:00
津農林水産商工環境事務所	県津庁舎3階入札室	11月21日(金)13:30-15:00
松阪農林商工環境事務所	県松阪庁舎6階第61会議室	11月25日(火)13:30-16:00
尾鷲農林水産商工環境事務所 熊野農林商工環境事務所	県熊野庁舎5F501会議室	11月26日(水)14:00-16:00
四日市農林商工環境事務所	県四日市庁舎1F第11会議室	11月28日(金)13:00-17:00

○各市町からの意見(抜粋)

【ごみの有料化】

- ・まず普及啓発による減量努力を促した結果を見た上での検討になると考えている。
- ・全国的な流れでもあり、応分負担の考え方からも今後検討したい。等

【環境教育、NPO等団体の活動等】

- ・子どもへの環境学習・啓発の推進には、学校・教師側の考え方・姿勢が大きく影響する。
- ・学校・団体・事業者それぞれの取組はあっても、互いに連携する仕組みづくりが課題である。
- ・行政は常にアンテナを張り情報を収集するとともに、活動主体間のネットワークづくりや市町を超えた情報共有を進める必要がある。等

平成20年度行政連絡会議の概要

第2回行政連絡会議

議題【ごみゼロプラン推進の取組及び意見交換】

※市町等参加職員：69名

- H20年度モデル事業の取組状況
- H21年度当初予算の概要 等

地域機関	開催場所	開催日時(H21年)
尾鷲農林水産商工環境事務所 熊野農林商工環境事務所	県尾鷲庁舎1F研修室	2月17日(火)13:30—15:30
津農林水産商工環境事務所	県津庁舎5F第52会議室	2月18日(水)14:00—15:30
伊賀農林商工環境事務所	県伊賀庁舎4階第3会議室	2月20日(金)13:30—16:00
桑名農政環境事務所	県桑名庁舎附属棟1階第2会議室	2月23日(月)10:00—12:00
伊勢農林水産商工環境事務所	県伊勢庁舎2階指名審査会室	2月23日(月)13:30—15:30
鈴鹿環境室(四日市事務所管内)	県鈴鹿庁舎4F第47会議室	2月24日(火)10:00—12:00
四日市農林商工環境事務所	県四日市庁舎1階12会議室	2月27日(金)15:00—17:00
松阪農林商工環境事務所	県松阪庁舎3階32会議室	3月 2日(月)13:30—15:30

○各市町からの意見(抜粋)

【ごみの有料化について】

- ・有料化をした市町の、その後のごみ量の推移や料金の値上げについての情報等を提供してほしい。

【事業系ごみについて】

- ・実態を踏まえて、適正に処理されるための仕組みづくりについて検討したい。
- ・最近増加傾向にあり、要因の分析や、減量に向けての啓発等を行っていきたい。

【モデル事業について】

- ・事業者が参画する場合、排出者としての処理責任の観点から費用負担なども考えなければならない。

概 要

ごみゼロプラン推進計画

H21
2009

H22
2010

備考

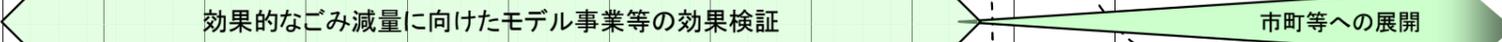
4月 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3

協働

①市町等モデル事業への支援

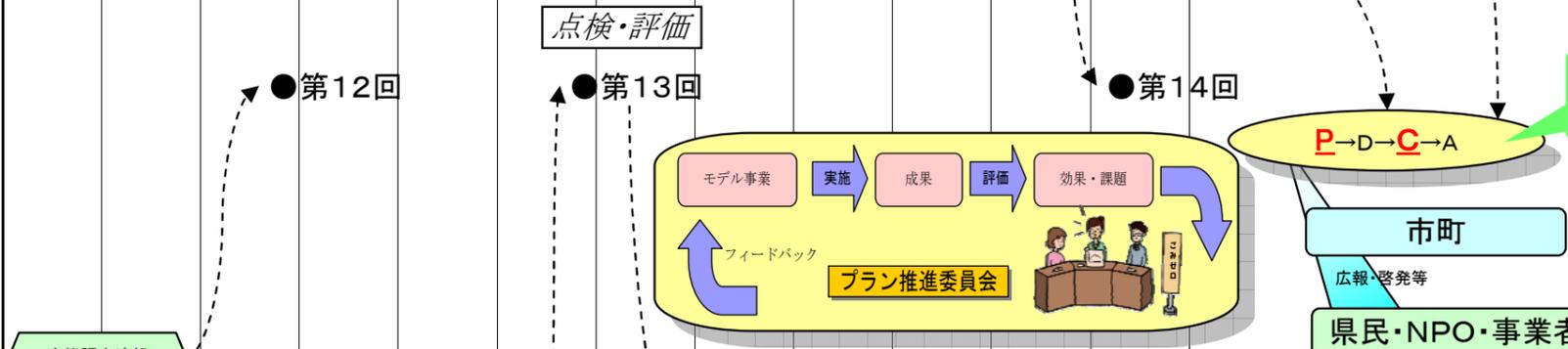


②モデル事業の実施に伴うごみ減量化の効果検証

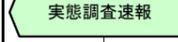


検証

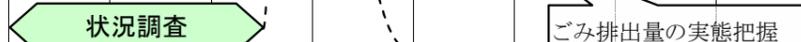
①ごみゼロプラン推進委員会



②一般廃棄物実態調査



③市町・事業者・NPOごみ減量等実施状況調査

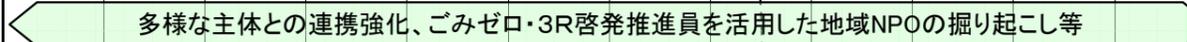


広報・啓発

①キャラクターを使った広告・啓発



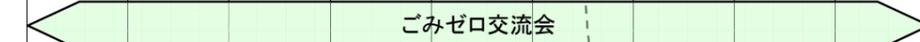
②ごみゼロ活動普及・啓発に向けた取組



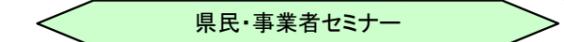
③ごみゼロ点検評価・レポート発行



④地域ごみゼロ交流会



⑤ごみゼロセミナー



⑥行政連絡会議



◎ 成果発表
フォーラム

短期目標の
達成状況を
踏まえた検証



ごみゼロ社会づくり

ごみゼロキャラクター ゼロ吉

「ごみゼロ社会」実現推進事業
(平成 21 年度予算額 : 32,782 千円)

環境森林部
ごみゼロ推進室
TEL 059-224-3126

ごみゼロ社会実現プラン

【数値目標】	【短期 2010 年度】 (平成 22 年度)	【目標 2025 年度】 (平成 37 年度)
○ごみ排出量削減率	(家庭系) 6% (事業系) 5%	30%
○資源としての再利用率	21%	50%
○ごみの最終処分量	81,000 ト	0 ト
○ものを大切に使う率 等	80%	100%



各主体に期待する役割・取組

住民	市町のごみ減量化施策等への参画
事業者	製品の開発・流通・消費各段階での廃棄物減量に向けた工夫・取組
市町	家庭ごみ有料化、生ごみ再資源化等のごみ減量化施策の推進
NPO 等 団体	市町の施策への参画、資源物回収等の自主的取組の実施・運営

プランの点検・評価 1,327 千円

プラン推進委員会との連携による、PDCAサイクルに基づくマネジメントの実施



《ごみ減量化に向けたモデル事業の実施と新たな仕組み等の提案》

モデル事業の実施とその成果の普及に向けて 10,000 千円

- ・市町が取り組むプランに沿ったごみ減量化に効果的な取組を3件程度、モデル事業として支援
- ・モデル事業の成果を整理・活用し、短期目標の達成に向け県全域へ展開

(取組例)

- 事業系ごみの適正処理システムの検討
- 地域における資源循環システムの検討など

モデル事業の実施に伴うごみ減量化の効果検証 5,250 千円

- ・毎年度実施しているプランの「点検・評価」をさらに深化し、より効果的なごみ減量に向けた取組へつなげるため、モデル事業等の効果検証を実施する。
(例：家庭ごみ有料化制度の導入や生ごみ堆肥化など)



ゼロ吉ファミリー

《プランの普及・啓発と成果の共有》

ごみゼロへの気運醸成に向けた情報発信 5,929 千円

ごみゼロソング制作・ラジオCM放送
駅ホームへの看板掲出・ごみゼロバス広告

ごみゼロ活動の普及・啓発に向けた取組 8,721 千円

県民・NPO・地域団体・事業者・市町・県市町とのプランの共有と推進、取組に関する連携の強化と情報の共有、廃棄物会計や市町ごみ処理カルテの普及促進、ごみゼロ・3R啓発推進員を活用した地域NPO等の掘り起こしや啓発の強化等

地域ごみゼロ交流会の実施 993 千円

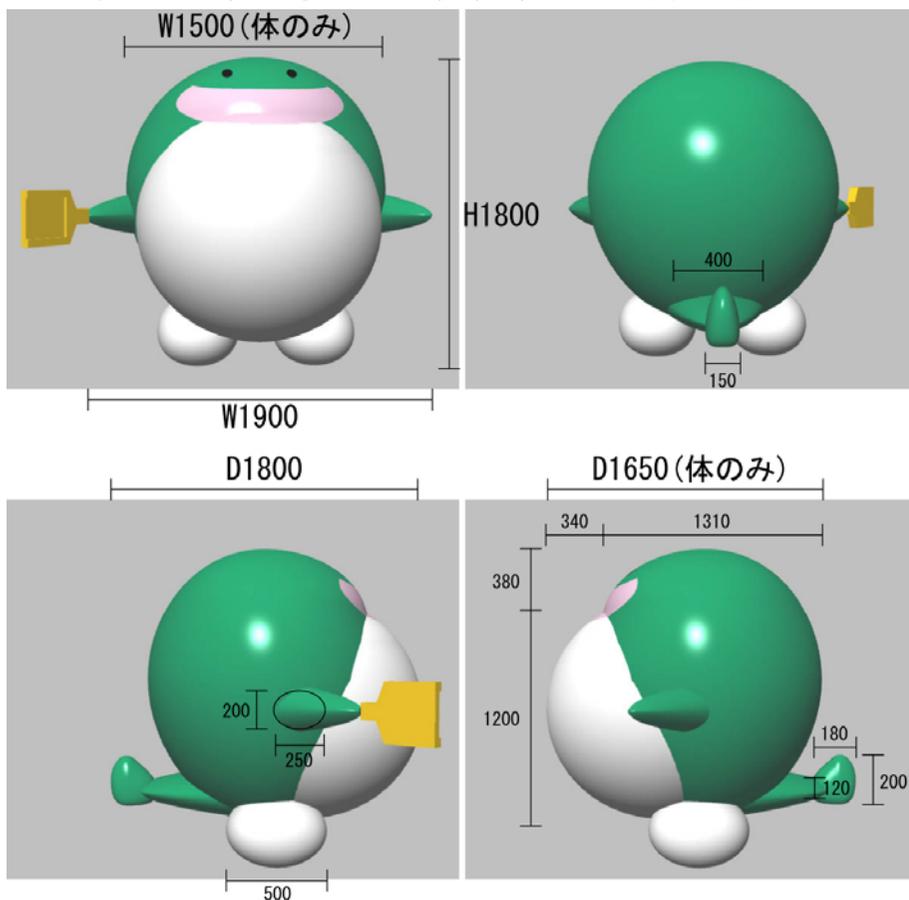
県民・NPO・地域団体
住民主体のごみ減量活動促進のための啓発、情報交流、事例研修

ごみゼロセミナーの開催 562 千円

県民・NPO・事業者・商工会議所等
各主体のごみ減量活動促進のための啓発、先進事例等に関する研修

着ぐるみの活用

※平成 21 年 4 月 18 日（土）県民の日にデビュー

平成 21 年度
ごみゼロキャラクターを活用した啓発活動

- | | |
|-------------------------|-----------------|
| 1. CATV 番組放送 | <u>1,449 千円</u> |
| 2. バス広告 | <u>1,260 千円</u> |
| 3. ごみゼロ DVD 複製・パンフレット増刷 | <u>1,202 千円</u> |
| 4. 津駅ホーム看板広告 | <u>546 千円</u> |
| 5. ゼロ吉テーマソングを公募により製作 賞金 | <u>200 千円</u> |
| 6. その他（バス広告、ラジオ CM等） | <u>913 千円</u> |

平成 21 年度事業費合計 5,570 千円